

# ごあいさつ

福島県立好間高等学校長  
和田 直也



日頃より、本校の教育活動に対し、ご理解とご支援を賜りますことに感謝申し上げます。  
令和2年4月より、好間高等学校に着任いたしました。和田直也と申します。  
どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度で創立73周年を迎える本校は、教育の根幹を「人づくり」に置き、地域と共に、社会に貢献できる人を育むため、本校創立時の精神である「鍛える教育」を実践しております。「自ら律し、自ら学び、自らの夢に挑戦する生徒」を目指して、生徒の限らない可能性を引き出す教育の実践に努めております。

今、グローバル化や少子高齢化の進展、自然環境の急激な変化など、私たちの日常の実感としても、新しい時代への激動の時を生きていると感じざるを得ない状況があります。この時代をしっかりと生き抜き、社会に貢献していくために、身に着けるべき力や資質として求められているのが、自分の頭で考え、必要な情報を精査し判断する力、主体性、人それぞれの価値観や考え方の違い、その多様性を認め合い、互いに尊重していく寛容性、意見の違う相手とも真摯に向き合い、対話し、進むべき道を模索し、一丸となって実現していくための対話力・表現力です。相手の痛みを想像し、慮りながら、私たち生身の人間が、思い、悩み、思案を重ね判断していく、真心や温もりのある行動は、到底、人工知能にはなしえない偉業であると思います。

本校創立時からの精神であり伝統である「鍛える教育」「5秒の礼」を引き継ぎ、厳しさの中にも優しさと礼儀を兼ね備えた人を育むことを目指して、地域と共に、社会に貢献できる人を育てる教育の実践に努めてまいります。

今後とも、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。